

(3) 特殊分類（財別）の生産動向

特殊分類とは、それぞれの品目を経済的用途によって分類したものであり、その内容は表4のとおりである。

表4 特殊分類（財別）の分類定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財
建設財	建築用と土木用の合計
消費財	主として家計で購入される財
耐久消費財	耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い製品
非耐久消費財	耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される商品 ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く

図4は、平成15年以降の特殊分類（財別）生産指数の推移を表したものである。

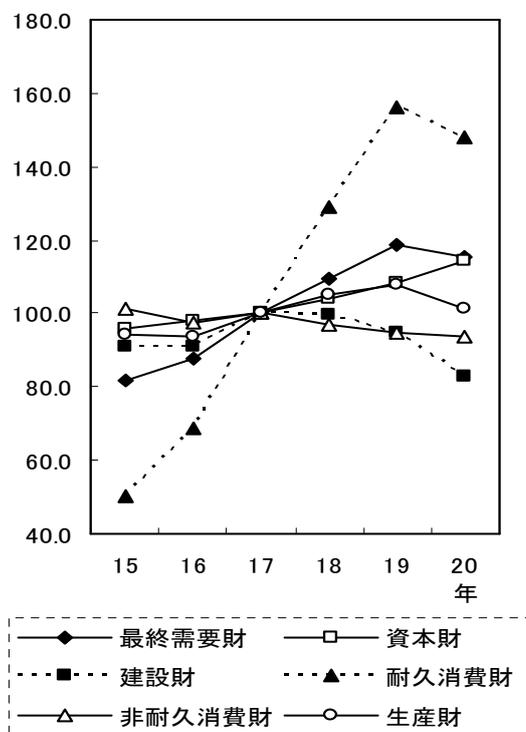
平成20年は、最終需要財は平成17年基準改定以後初めて低下し、生産財は4年ぶりに低下した。

表5 特殊分類（財別）生産指数

(統計表11)

分類	平成20年生産指数	前年比(%)
鉱工業総合	107.0	▲ 4.5
最終需要財	115.5	▲ 2.6
投資財	103.4	▲ 0.5
資本財	114.1	▲ 5.1
建設財	82.7	▲ 12.9
消費財	125.1	▲ 4.0
耐久消費財	148.0	▲ 5.3
非耐久消費財	94.0	▲ 1.0
生産財	101.2	▲ 6.0

図4 特殊分類（財別）生産指数の推移
(統計表11)



(ア) 最終需要財

I 投資財

投資財の生産指数は、103.4で前年比▲0.5%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。内訳をみると、資本財の生産指数は、114.1で前年比5.1%と5年連続の上昇となり、建設財の生産指数は、82.7で前年比▲12.9%と3年連続の低下となった。

II 消費財

消費財の生産指数は、125.1で前年比▲4.0%と平成17年基準改定以後初めての低下となった。内訳をみると、耐久消費財の生産指数は、148.0で前年比▲5.3%と平成17年基準改定以後初めての低下となり、非耐久消費財の生産指数は、94.0で前年比▲1.0%と3年連続の低下となった。

(イ) 生産財

生産財の生産指数は、101.2で前年比▲6.0%と4年ぶりの低下となった。

図5は、総合生産指数の伸びに対する財別の寄与度について平成16年以降の推移を表したものである。平成20年は、生産財の及ぼす影響が非常に大きくなっている。

図5 鉱工業総合指数の伸びに対する財別寄与度の推移

